

馳文部科学大臣が、本学資料館「人体標本と100年史」を視察

平成27年11月16日、馳文部科学大臣が本学に来校されました。馳大臣は同行の豊田真由子大臣政務官、島村大参議院議員と共に本学資料館を視察されました。

資料館では、白衣を着用いただき、「横地千仞の世界館」をご覧いただきました。独特の世界観に包まれた作品の数々に大臣は大変興味をもたれ、「名誉教授横地千仞が96歳を迎えた現在も矍鑠とされております」という理事長の言葉に大変驚かれておりました。



[横地千仞の世界館]



[アナトミーアート展示室]

「アナトミーアート展示室」では、リアルとユーモアが融合した世界観と横地先生の原点とも言える「70年前の記憶」に感銘されておられました。

続いて、今回の視察の目的である「標本室」へご入館されました。ご献体者への位牌に深々と合掌され、やや緊張した面持ちでご入室されましたが、全身筋肉標本や、精密に精巧に創られた標本の数々を目にされ、「人体」にはご関心がおありで一つ一つを説明する鹿島理事長の言葉に耳を傾け、ときには積極的にご質問されました。



[人体標本室]



[歯科診療室100年史]



島村参議院

豊田大臣
政務官

馳文部大臣